

- リニューアル！入院支援室のご紹介
- 第5回「まごころ職員大賞」受賞者決定
- 病院再開発完成記念コンサート開催
- 院内図書館「かいつぶり」がリニューアルオープンしました
- タリーズコーヒーがオープンしました
- 発芽大豆パウンドケーキの販売を開始

リニューアル！ 入院支援室のご紹介

患者支援センター

この度、病院の再開発が完成し「入院支援室」が本格的に稼働することになりました。

●入院支援室？ どんなどころ？

入院支援室は、入院に際して抱かれる心配事をより少なく、また、安全に入院生活を送っていただけるように入院が決まった患者さんからお話を伺っています。

例えば、「入院生活ってどんな感じなんだろう？」「病院の看護師に伝えておきたいことがある」「経済的な不安がある」……などの心配ごとには関連部署や専門のスタッフに連絡し、詳しく説明させていただいたり面談の手はずを整えたりして、解決できるように努めています。また、入院時から安全なお食事を召し上がっていただけるように食品のアレルギーについて伺ったり、治療がスムーズに行えるようにお薬の確認をしています。



入院支援室
スタッフ

●どんなどきに利用するの？

お越しいただく患者さんは、入院が予定されている方となります（現在は9診療科を対象としていますが、徐々に拡大していく予定です）。入院が決まった当日にお時間のない方は、ご都合のつく日に入院支援室の受付で面談の予約を入れていただき、後日お越しくださっても結構です。

●どんな話をするの？

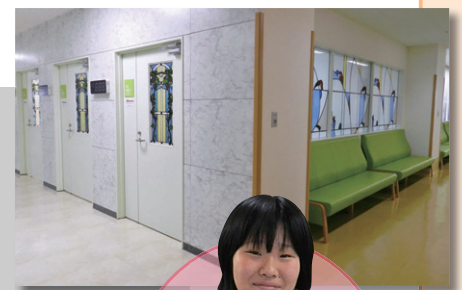
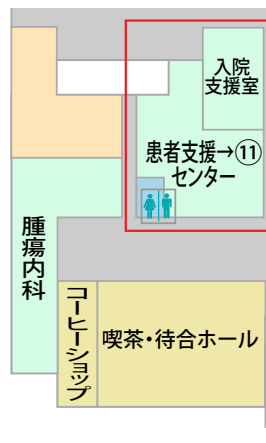
患者さんにお伺いするのは、入院に際してご心配なことやお困りごと、日常生活の状況、お薬のこと、アレルギーについて、介護保険の利用やかかりつけ医について等です。服用されているお薬や説明書などをお持ちくださると、お薬をしっかりと確認できますので、できるだけご協力ください。

また、患者さんやご家族からのご質問などもお受けしています。遠慮なくお尋ねください。

●どこにあるの？

入院支援室の受付は、病院玄関入ってすぐ左側のカウンターです。診察を受けられた診療科の外来で、案内をお渡ししています。

面談室は3部屋ありますが、多少お待たせすることもございます。ご容赦くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



受付でお待ち
しております

第5回「まごころ職員大賞」の受賞者が決定しました！

医療サービス課



「まごころ職員大賞」とは、職員の患者サービス・接遇意識の向上を啓発することを目的に、患者さんやご家族の方々から「対応が良かった」等、ご推薦をいただいた職員を表彰する制度です。

第5回は、平成23年4月1日～平成24年1月31日までの期間実施しました。総投票数は463票、ご推薦いただいた職員は290人にも及びましたが、その中から、第5回「まごころ職員大賞」の受賞者を決定しました。



受賞者と推薦理由（抜粋）



近藤 由布子 看護師（4C）

本当の家族のような対応、母の手を何度も握ってくれ、その温かみで母が元気になってくれました。



長濱 里美 看護師（6C）

いつも声かけが優しく、父はその声を聞くと嬉しそうにしています。



藤田 真梨 看護師（5C）

仕事に対する対応が機敏。明るさとがんばりが心優しく感じられます。

受賞式では、柏木病院長から表彰状と記念品が贈られ、ねぎらいの言葉がかけられました。これからも、心あたたまる医療の提供を目指し、患者サービス・接遇向上に向けた取組を実施してまいります。

病院再開発完成記念コンサートを開催しました

総務課総務係



病院再開発事業が今年3月に完了したことを記念して、4月28日(土)に病院玄関ホールで医大の卒業生や市民らでつくる交響楽団「セタフィルハーモニックオーケストラ」と合唱団「びわこアーベントロート合唱団」の共演で病院再開発完成記念コンサートを開催し、ベートーベン作曲の「歓喜の歌」が披露されました。

本コンサートは、平成17年からスタートした病院再開発事業が平成23年度末で計画通り完了したことから、本事業でお世話になった皆様への感謝を込めて開催したものです。



この日は、晴天に恵まれたこともあり、会場には患者さんや住民の皆さん約500人が集まり、近くで演奏を聴けて迫力があつた等、観客の皆さんからも嬉しい感想と笑顔をいただきました。コンサート終了後には、会場から盛大な拍手が贈られ、病院の再出発を祝うことができました。

院内図書室「かいつぶり」がリニューアルオープンしました

病院管理課



院内図書室の改修工事が終了し、3月21日(水)にリニューアルオープンしました。

新しくなった院内図書室は、約2倍の広さとなり、4台の書架が追加され、蔵書数、種類とも、さらに充実しました。また、部屋の中心には新たに大きなテーブルが設置され、患者さんが読書を楽しまれるスペースを確保しました。

今回のリニューアルに合わせて、院内図書室に「かいつぶり」という愛称が誕生しました。これは湖に集うかいつぶり[※]のように、院内図書室が患者さんの憩いの場になればと、ボランティアの皆さんが名付けてくださいました。

院内図書室には市販の闘病記や本院入院患者さんの闘病手記を集めた「闘病記文庫」コーナーがあるほか、近江の歴史・文化に関する本を集めた「近江文庫」コーナー（サンライズ出版株式会社より寄贈）が設けられました。



※「かいつぶり」とは滋賀県の県の鳥で、琵琶湖を代表する水鳥です。

院内図書室利用時間



月曜日～金曜日 11:00～15:00

※祝日および年末年始の休日を除きます。

タリーズコーヒーがオープンしました

病院管理課経営企画室

病院玄関ホール横の一角にタリーズコーヒーがオープンしました。

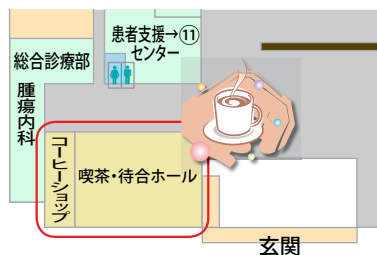
豊富なドリンクメニューはもちろん、フードメニューもお楽しみいただけ、テイクアウトもできます。

フロアは開放的な雰囲気、患者さんや家族の方が「ほっと」一息つける空間がひとつ増えました。キッズコーナーもあり、木目調のグランドピアノが定時に自動演奏を行いますのでお楽しみ下さい。

また、一部の座席は、ご持参いただいたお食事をとられる際などにもご利用できます。



こちらの10席は、
ご自由にご利用ください。



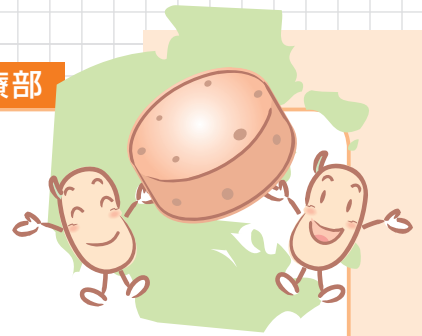
★営業時間 7:00～20:00 (年中無休)

★TEL 077-547-2377

発芽大豆パウンドケーキの販売を開始しました

栄養治療部

開発から販売まで1年の月日を要しましたが、4月4日より発芽大豆パウンドケーキの販売を開始しました。



1年前より、滋賀医大ブランド作成の要請があり、命題は2点でした。

1. 滋賀県産のもの。
2. 医科大学ならではのヘルシーなもの。

この観点から、病院給食で取り入れている、地産地消の発芽大豆（食物繊維・ミネラルが豊富）をスイーツに考案しました。

食材の加工や調達は、フジノ食品さん・地元の洋菓子パレットさんと協同です。パッケージは明和工芸印刷さんをお願いし、大学職員や学生にアンケートを行って検討しました。大変多くの方にお世話になり、ありがとうございました。

ケーキの特徴

発芽大豆粉・豆乳・植物性油脂を使用し、タンパク質が豊富です。油脂と甘みを控え、低カロリーで食物繊維が豊富。通常のパウンドケーキは200kcalですが、発芽大豆パウンドケーキは**80kcal**程度です。

工夫した点

2つの課題がありました。

1つは、発芽大豆の豆くさをどう抑えるかという点ですが、同じ豆つながりでコーヒーの香りと重ねて解決しました。

2つ目の課題は、核になる旨味を引き出すことでしたが、発芽大豆の持つ素朴な香り、味わいを生かすために豆乳を加えること、それを助けるキビ糖の味、香りによって、素朴で優しい味を作ることができました。洋菓子の技術で作られる、和菓子のような風味は、この素材の持ち味から生まれました。

★原材料名★

卵、卵黄、豆乳（滋賀県産）、きび糖、太白ごま油、アーモンドプードル、発芽大豆全粒粉（滋賀県産）、くるみ、薄力粉（滋賀県産）、転化糖、コーヒー豆粉末、バニラシュガー、トレハロース（原材料の一部に卵、小麦、大豆を含む）

今後の展開

おいしさと健康を追求しながら、日頃不足しがちな栄養素などを盛り込み、地産地消を続けていきたいと考えています。

販売場所

附属病院内ローソンと草津・大津のパレット5店舗。

- 1個 150円
- 1箱 840円（6個入り）



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第35号 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
 〒520-2192 大津市瀬田月輪町
 TEL: 077(548)2012(企画調整室)
 過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します